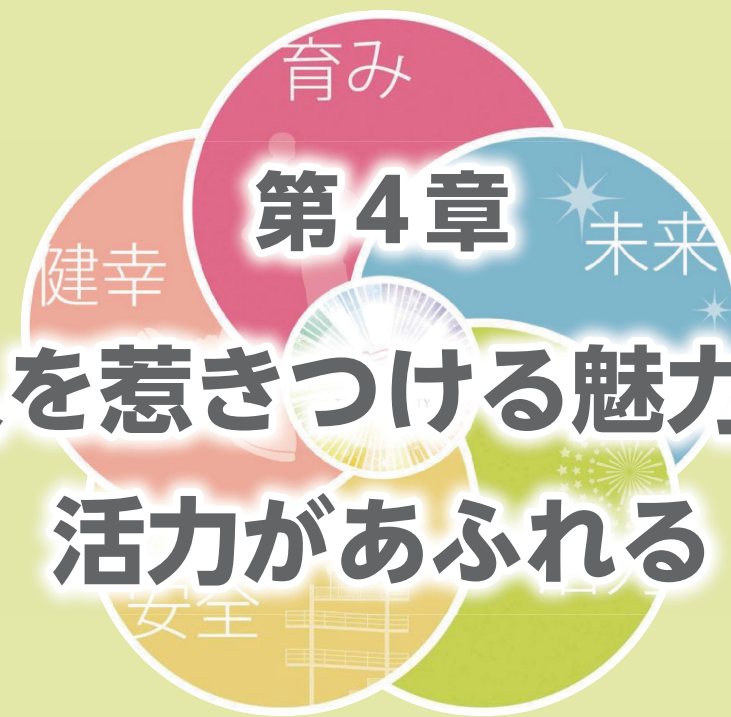




第4章

人を惹きつける魅力と 活力があふれる

第1節

快適で魅力ある住環境を創るまちづくり 61

第2節

産業振興とにぎわい創出による活力あふれるまちづくり ... 63

第3節

魅力ある集客・交流のまちづくり 65

施策を取り巻く状況

市内の住宅については、耐震化による安全性の確保や、人口減少と少子高齢化の進行に対して、市内へ新たな世帯を呼び込む契機としても見込まれる空き家等対策など、良好な住環境の形成に向けた総合的な取り組みが求められています。

市営住宅については、バリアフリー化を進め、入居者の安全・安心の確保と居住環境の向上につながっていますが、引き続き計画的な更新等により長寿命化等を図る必要があります。

公園については、計画的な維持管理、遊具・設備の改修、更新等を進め、快適な環境の保持と利用者の安全確保に努めています。また、人口減少と少子高齢化の進行を見据えた公園施設の見直しや、周辺の環境に配慮した新たに整備する街路樹のあり方についても検討が必要とされています。

本市には里山や池が少ないため、水とみどりの環境の充実に対する市民のニーズが比較的高くなっています。まちの緑化については、生垣用苗木の無料配布を行い、また市内の貴重な緑の資源である市街化区域^{*}内農地の保全を図るとともに、市民の憩いの場として健幸^{*}コミュニティ農園の確保・拡充に取り組んでいます。

芦田川改修工事にあわせて整備してきた「芦田川ふるさと広場」を中心に親水空間として芦田川遊歩道や都市計画道路である南海中央線についても植栽によるグリーンベルト、けやき、せせらぎ等を配置し、歩いて楽しい「健幸ウォーキングロード^{*}」を整備しました。

今後、これまで整備してきた快適で魅力ある都市空間を活かしながら、市民・事業者・行政の協働によって多様な緑の創出と保全等に取り組むことが必要です。

取り組みの方向

1 安全で快適な住まいの実現

- これまで進めてきた住宅政策を継続的に実施し、今後も市の定住人口の増加や魅力あるまちづくりの実現に取り組みます。また、防災性の向上の観点から、関係団体等との連携による民間住宅の耐震化の支援や相談・啓発活動の充実に努めます。
- 空き家等対策については、空き家バンク制度^{*}で移住者向けの居住等への有効活用や流通の促進を図るとともに、良好な住環境を維持するため、管理不全な状態にある空き家等の所有者等に対して必要な措置を講ずるよう促すなど、適切な管理に努めます。
- 市営住宅については、更新や長寿命化改修、維持管理等を計画的に進めることにより、ライフサイクルコスト^{*}の縮減を図ります。

2 水とみどり豊かな住環境の保全

- 環境に配慮した主要な道路の無電柱化や歩いて楽しいシンボルロードづくり^{*}、水とみどり豊かな河川、防災にも役立つ蓮池公園整備、市街化区域内農地の保全・活用等に取り組めます。
- 市街地における景観に即した街路樹等の整備・更新と市民との協働による維持管理に努めることにより、その保全を図ります。また、市民農園など緑を身近に感じることのできるような取り組みを市民とともに展開することにより、みどりによる街並み景観の形成を推進します。

- 公園施設の適正かつ計画的な維持管理や長寿命化対策を推進することにより、利用者の安全の確保とライフサイクルコスト^{*}の縮減を図ります。また、公園・緑地への市民のニーズの変化を踏まえ、遊具等の集約化や公園ごとの機能分担など、地域の特性に応じた機能の見直しに取り組みます。

主要な取り組み

良好な住環境の向上や防災性の向上

- 市の定住人口の増加や地域の活力と魅力あるまちづくりの推進
- 民間建築物の耐震改修の促進

空き家対策の推進

- 空き家バンク制度^{*}による空き家の利活用
- 空き家化の予防・抑制

快適な住環境整備の推進

- 市営住宅の計画的な維持管理の推進

安全で快適な公園施設の確保・緑化の推進

- 公園ストックの老朽化、社会情勢の変化等による利用状況の把握、利用者の意見などを参考にした魅力ある公園施設等の更新、維持等の推進
- 緑化の適正な維持管理の推進
- 蓮池公園の整備

貴重な親水空間の活用

- 芦田川を活用した環境学習等の推進



▲ 川の生態調査（芦田川ふるさと広場）



▲ 蓮池公園（イメージ図）

施策を取り巻く状況

産業振興に関しては、市域の約4割を臨海工業地帯が占めるという本市の特性を活かし、今後、脱炭素社会^{*}に向けた産業構造の転換が進むことも予測されることから、企業、国、大阪府や関係自治体等と連携を図り、企業誘致や設備投資の促進に取り組む必要があります。

商業・サービス業の振興については、消費者ニーズの多様化に対応するため、魅力ある商品やサービスの提供が求められています。また近隣商圈における大型店の進出、ネット通販の拡大などから、駅周辺を中心に空き店舗が目立つなど活力の低下が見られることから、商業・サービス業の活性化を図り、にぎわいづくりに取り組む必要があります。

農業振興については、担い手の育成・確保や担い手への農地の集約を進めるとともに、販売農家における農業経営の安定を図っています。また、漁業については、漁港を活用したイベントの実施、魚種のブランド化や担い手の育成に取り組む必要があります。

雇用促進については、急速な少子高齢化に伴う人口減少により労働力人口が減少していく中、年齢や性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、働く意欲のある全ての人の希望と適性に応じた就労機会が確保されるとともに、働きがいを持ちながら、安心して働き続けることのできる就業環境を実現していくことが求められています。

取り組みの方向

1 次世代産業の創出支援と企業立地の推進

- 脱炭素社会に向けた産業構造の転換が進むことも予測されることから臨海部における企業の誘致や新たな産業に向けた投資の促進、企業の競争力強化に向けた支援の充実や設備投資しやすい環境を整えるとともに、雇用の促進・確保を図ります。
- ICT^{*}、IoT^{*}、AI^{*}などに代表される新規・成長分野における創業や企業集積を推進することにより、新たな地域産業として定着を図るとともに、新技術の開発や高度化に向けた取り組みを支援します。
- 港湾については、大阪港湾局、高石商工会議所や関係市町と連携を図りながら、堺泉北港の利用促進に取り組めます。

2 既存産業の活性化と経営基盤の強化

- 中小企業の経営基盤強化と成長に向け、経済団体、金融機関等と行政とが連携し、生産性向上や人材育成、創業、新分野進出、事業承継等の多様な経営課題に対する相談・支援・情報提供の充実を図るなど、総合的な中小企業振興策を推進します。
- 商業・サービス業については、各団体の活動基盤の強化を促進するとともに、リノベーション^{*}まちづくり手法を用いて空き家・空き店舗等の再生を行い、雇用創出とエリア価値の向上を図るなど、まちの活性化に取り組めます。
- 農業については、貴重なみどりの空間として農地保全に努め、若い世代の農業者の育成を図ります。
- 漁業については、消費地に直結した高石漁港の立地を活かし、都市近郊漁業としての振興を図ります。

3 雇用機会の拡大と就業環境の充実

- 働く意欲のある全ての人が希望と適性に応じた職に就くことができるよう、ハローワークや関係機関と連携を取りながら、情報提供や相談体制の充実を図るとともに、セミナーや研修会の開催などを通じ、就労機会の確保と職業能力の向上を支援します。
- 勤労者の生活の安定と向上が図られ、安心して意欲的に働き続けることができるよう、関係機関とも連携し、勤労者の福利厚生増進に対する支援に努めるとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進や労働環境の改善に向けた啓発を図ります。

主要な取り組み

臨海企業の投資促進

- 高石市企業立地等促進制度の延長と制度の拡充
- 新規・成長分野における産業の誘致
- 工業地区における緑地面積率の緩和

港湾の利用促進

- 関係市町等と連携したポートセールスの実施

商業の活性化と中小企業支援

- 商工会議所と連携した中小企業、商業団体への支援
- 創業希望者へのセミナーの実施や創業者への支援制度の充実
- 新たな価値を創出するサービス業や創業・起業家への支援
- 国、大阪府等の支援制度の情報提供

農業・漁業の活性化

- 関係機関と連携した耕作放棄地の解消と担い手の確保
- 高石漁港を活用したイベントによる情報発信

雇用環境の充実

- 高石市就労支援事業の推進
- 就労希望者と企業のマッチング事業の実施
- 大阪府労働相談センター等の関係機関との連携
- 高石市勤労者福祉互助会事業の充実



▲ 企業立地等促進制度を適用した防災避難タワー



▲ 合同企業説明会

施策を取り巻く状況

生産年齢人口の減少により、社会経済全体に消費の縮小や地域活動の担い手の不足、社会保障費の増大や税収の減少等の大きな影響を及ぼすことが懸念されています。

このため、子育て世代を中心に定住や移住を促すことにより、地域の活力を持続・向上させていくことがより重要となっています。

本市は、これまで子育て環境や教育環境の充実、交通の利便性が高いことなどを市内外にPRし、子育て世代の定住促進に取り組んできました。

今後、それらの取り組みとあわせ、南海本線の鉄道高架化による商業区域の一体化に伴い、駅前広場をはじめとしたにぎわいの創出や市内駅周辺の活性化を進める必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症^{*}の拡大を契機として、オープンスペースの充実に対するニーズが高まってきており、居心地が良いウォカブルなまちづくり^{*}を推進し、官民によるゆとりとにぎわいの創出に取り組む必要があります。

さらに、浜寺水路周辺等のウォーターフロントをはじめ、本市の地域資源を活用し、地域の活性化を図ることにより、一人でも多くの方に本市への誇りや愛着を持ってもらえるまちづくりが必要です。

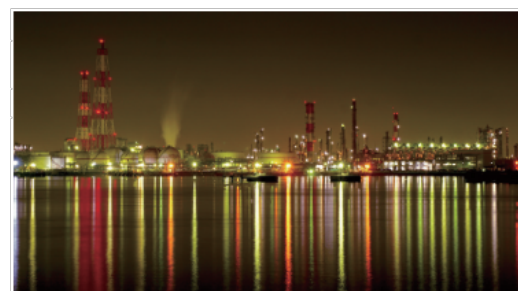
魅力の発信については、SNS^{*}等を通じて本市の魅力を広くPRしているほか、泉州地域の自治体等との連携により設立した「KIX泉州ツーリズムビューロー」においても、本市の魅力を国内外へ情報発信し、PR活動を実施しています。また、本市のもつ地域資源を掘り起こし、磨き上げ、地域の価値や魅力を高めることにより、「何度でも訪れたい」まちとなるような取り組みが重要となります。



▲ シーサイドフェスティバル



臨海地区の工場夜景 ▶



取り組みの方向

1 魅力あるまちづくりの推進

- 南海本線の鉄道高架化により、分断されていた商業区域が一体化することに伴い、高架下空間に沿線価値の向上に資する商業施設やにぎわい・交流の拠点となる公共施設等を整備します。
- 市内の駅周辺において、既存ストックを活用した魅力の発見や創出に取り組み、にぎわいと魅力あるまちづくりをめざします。
- 官民連携による既存ストックを最大限活用した「居心地が良く歩きたくなる」空間の形成や公園、広場、道路等のオープンスペースの充実と柔軟かつ多様な活用を推進します。

2 海辺のにぎわいづくりの推進

- ブランド戦略による高師浜線活性化に引き続き取り組むとともに、浜寺水路周辺等のウォーターフロントを活用し、市内外からの誘客が見込める施設等の誘致をめざします。

3 シティプロモーション等の推進

- シーサイドフェスティバルや工場夜景等の本市の魅力を発信し、市内外へ広くPRを図るとともに、東京オリンピック・パラリンピックや大阪・関西万博の開催などを契機とし、一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューロー等とも連携して、本市の地域資源の発掘に取り組みます。

主要な取り組み

駅周辺の活性化

- 高石駅・羽衣駅・富木駅ほか、市内駅周辺の環境整備の推進

ゆとりとにぎわいのあるウォカブル空間の創出

- 官民連携によるウォカブル空間の形成
- 公園、広場、道路等のオープンスペースの充実

ブランド戦略による高師浜線活性化

- シーサイドフェスティバルや工場夜景ツアー等による地域活性化の推進

浜寺水路周辺エリア一帯の活用

- 旧市民会館・図書館跡地への集客施設の誘致

魅力の発信・発掘

- 工場夜景等のシティプロモーションの推進
- 一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューローと連携した魅力発信等の推進



資料：国土交通省



▲ 高師浜線 100 周年イベント